

政策評価調書(25年度実績)

政策名	ツーリズムの展開	政策コード	Ⅱ-3	関係部局名	企画振興部
-----	----------	-------	-----	-------	-------

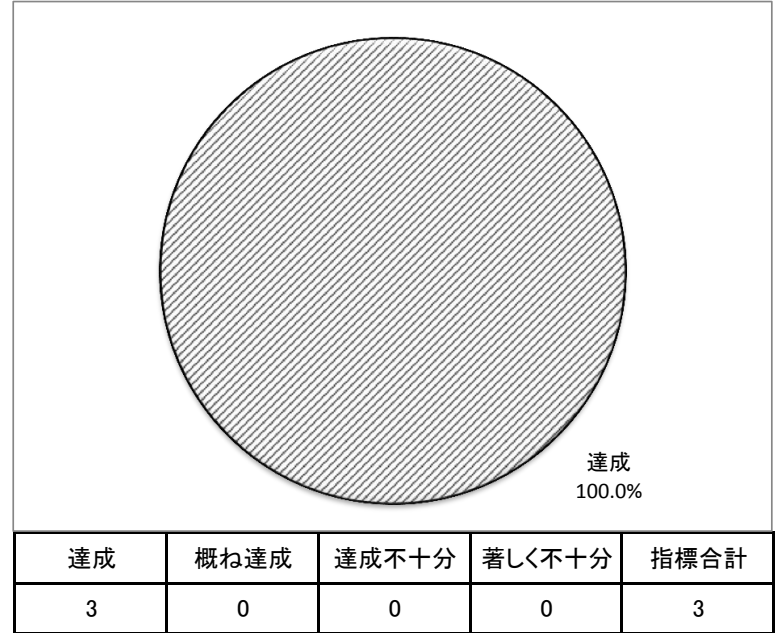
【Ⅰ. 政策の概要】

自然、温泉、歴史、文化、産業、グルメ等のすぐれた地域資源の戦略的な売り込みや、観光客ニーズに適合する旅行商品の開発、観光ボランティアガイドの育成、九州新幹線等を活用した広域観光ルートの形成などを進める。

【Ⅲ. 政策を構成する施策の評価結果】

	施策名	指標評価	総合評価
1	観光と地域づくりを一体とするツーリズムの推進	達成	A

【Ⅱ. 構成施策の目標指標の達成状況】



【Ⅴ. 政策を取り巻く社会経済情勢・今後の動向】

本県では、大分県ツーリズム戦略に基づく、①地域の観光素材磨き、②誘客、③情報発信、④広域観光、⑤戦略ある現場主義の推進、を5つの戦略として、「日本一のおんせん県おおいた 〰️味力も満載」を旗印に、官民挙げて戦略を推進している。

平成27年夏の「いやします。ひやします。おんせん県おおいた ディスティネーションキャンペーン」は、JRグループと連携して実施する日本最大規模の観光宣伝・誘客キャンペーンであり、全国に向け、本県が誇る温泉・食に加え、世界農業遺産やジオパーク、さらには県立美術館をはじめとするアートなど、様々な観光素材をPRし、県内への誘客を強化する絶好の機会である。

旅行会社を対象とした全国宣伝販売促進会議や各地での商談会等を通じて、おんせん県おおいたの魅力アピールし、旅行商品の造成等につなげる。また、東九州自動車道の開通を契機とした中国・四国・関西方面からの誘客対策、近年伸びているインターネットによる旅行販売会社と連携した着地型事業等の展開により、若年層や高年層の誘客を強化する。

大分県ツーリズム戦略【目標】(平成27年度)

観光入込客数	1,900万人
県内宿泊客数	520万人
うち外国人宿泊客数	39万人
グリーンツーリズム宿泊数	2.4万人

【Ⅳ. 評価が著しく不十分となった指標】

指標名	達成率
該当なし	-